



ISSNポータルとエクストラネットがリニューアル： 登録済みISSNデータの主要な項目とパワーアップしたサービスを、 指先ひとつで利用できます！

2018年1月、ISSN国際センターは新たなISSNポータルとエクストラネットの提供を開始しました(<https://portal.issn.org>)。図書館員、編集者、出版者、コンテンツプロバイダ、データベース管理者、研究者、学生など、どなたでも無料で、ISSN国際センターのデータベースに登録されているISSNデータの主要な項目にアクセスできます。アクセスは、ウェブ上で

もコンテンツネゴシエーション経由でも可能です。ISSN国際センターのデータベースは国際標準番号であるISSNを包括する完全なものですから、これをフルに活用することで、逐次刊行物を同定できます(印刷物のISSNも、オンライン版のISSNも収録されています)。

ISSNポータルは、世界中の全てのISSNデータにアクセスできる唯一のアクセスポイントです。

- 全てのユーザーに対して:ISSNが付与されている逐次刊行物について、書誌情報の主要な項目を無料で公開しています。検索キー (ISSN、ISSN-L、キータイトル、本タイトル、出版国、媒体、URL)により、正確に迷いなく、逐次刊行物を同定できます。
- 有料サービスの登録ユーザーに対して:無料公開版よりも幅広いデータとサービスを提供します。
- 既刊・未刊を問わず、全ての逐次刊行物を同定するための検索オプション (簡易検索・詳細検索・エキスパート検索)
- ファセット検索 (主題分類を含む)
- 新規追加された画面表示機能 (タイトル変遷のタイムライン、地図からの出版地検索、改題や版・シリーズの関係を含む)
- 多彩なフォーマットでダウンロードできるデータ (MARC 21, UNIMARC, MARC XML, RDF/XML, RDF turtle, JSON 等)
- ISSN API によるダウンロード
- 様々な言語のインターフェース
- 利用統計取得機能つき団体アカウント
- 安全なオンライン決済機能
- ISSN申請者に対して:申請のための新たなインターフェース(エクストラネット)を提供します。
- ISSN申請を管理できるユーザーアカウント
- 逐次刊行物のデータ共有のための拡張ウェブフォーム
- ISSN登録申請手続きの進捗状況を段階ごとに確認できる追跡機能
- 逐次刊行物に関するデータを出版者のアカウントにリンクするための機能
- 逐次刊行物のデータを最新の状態にアップデートするための書誌訂正依頼機能

ISSN国際センターは、ISSNユーザーのニーズを満たすべく、サービスの改善に取り組んでいます。2018年は、ISSNポータルの機能強化を引き続き行っていきます。

ISSN国際センターについて (www.issn.org)

ISSN国際センターは政府間組織で、国際的レベルで分野を問わず、逐次刊行物の識別と記述を管理しています。対象となる逐次刊行物には、印刷物もオンライン版も含まれます。ISSN国際センターは、1975年、パリにおいて、ユネスコ・フランス(ホスト国)政府間協定により正式に設立さ

れました。2018年時点で、ISSNネットワークには90か国が参加しています。ISSN国際センターは、ISSN International Register (ISSN公式登録データベース)の維持・管理と公開を行います。また、ISSN各国センターの存在しない諸国および国際機関の刊行物へのISSN付与も担当します。